

鬼北町議会12月定例会

第4回鬼北町議会定例会は12月2・4の2日間に開催されました。会では議案24件、請願3件が提案され、請願3件が委員会付託となり、他の案件については原案のとおり可決されました。

議案

- 鬼北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 鬼北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 鬼北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 鬼北町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について
- 鬼北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- 鬼北町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町教育長の給与及び旅費並びに勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町職員の給与に関する条例の一

- 部を改正する条例について
- 鬼北町母子家庭医療費助成条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 工事変更請負契約（鬼北町庁舎増築棟新築工事）の締結について
- 平成26年度鬼北町一般会計補正予算（第4号）について
- 平成26年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 平成26年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について
- 平成26年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について
- 平成26年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第2号）について

- 平成26年度鬼北町介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 平成26年度鬼北町日吉簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
- 平成26年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）について
- 平成26年度鬼北町水道事業会計補正予算（第1号）について
- 平成26年度鬼北町病院事業会計補正予算（第1号）について

請願

- 手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書について
- 住民の安全・安心を支える国の公務・公共サービス体制の充実を求める請願書について
- 自治体非正規雇用・公務公共関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める意見書に関する請願書について

一般質問

◆井上 博 議員

〔町内の半鐘台について〕

問 町内に何箇所あるのか。
答 現在、町内には19箇所の半鐘台がある。地区別では、近永地区4箇所、好藤地区4箇所、愛治地区3箇所、三島地区4箇所、泉地区1箇所、日吉地区3箇所となっており、いずれも消防車庫や集会所付近に設置されている。

問 今後の対応について

答 半鐘台は防災行政無線が整備される以前に建てられており、30年以上経過しているため、大地震の際に倒壊する恐れがあるものについては、撤去していく必要があると考えている。

なお、半鐘台の設置は、旧広見町では地元からの申請により消防施設整備費補助金を利用して設置したものであるが、旧日吉村においては、全て村で設置しているため、それらの経緯を踏まえながら、消防団や地域とも協議し対応を検討していきたい。

〔町立北宇和病院について〕

問 経営状況を踏まえ、今後どのように運営していくのか。
答 開設した平成18年度は約1億7,600万円、19年度約6,300万円、20年度約6,800万円、21年度約3,600万円と続けて損失が出たが、22年度には約3,100万円、23年度には約1,000万円の利益が出ている。しかし、その後24年度は約500万円、25年度は約5,800万円の損失が出ており、25年度末累積欠損金は、3億6,458万円を計上しているところである。

平成26年度についても厳しい状況が続いており、10月までの平均入院患者数は62・3人で、25年度平均64・0人を1・7人下回っている状況である。また、外来患者については、10月までの1日平均患者数が168・5人で、25年度平均169・3人とほぼ同じ状況となっている。ちなみに、本年11月1日現在の入院患者は74人、10月の1日平均の外来患者は176人とそれぞれ若干増えているが、今年度の決算見込みも幾分か損失が出るのではないかと推測している。

病院経営の基盤安定のためには、安定的な医師の招聘がもっとも重要なことである。医師や看護師等の働きやす